



くらしのニュース2月号

2022年（令和4年） NO. 488 令和4年1月24日発行
発行／苫小牧市市民生活部市民生活課 ☎32-6306（直通）

年末年始は道外産がメインです

生鮮食品などの市場の出回り状況を調査

市民生活課では、北海道からの要請を基に、年末年始の生鮮食料品等の需給及び価格動向の把握によって物価の安定を図る目的で市場調査を行っています。調査品目は、野菜・果物類 15 品目、魚介類 14 品目、花卉 10 品目となっています。調査結果の一部についてお知らせします。

野菜・果物類（丸一苫小牧中央青果㈱）

調査時に道内産で流通していた品目は、「みつば 上川産」「ごぼう 十勝産」「生しいたけ 胆振産」などがありましたが、野菜の入荷量のほとんどは道外産となっていました。

農林水産省の調査（令和元年度）によると、大根の都道府県別生産量は北海道（約 15 万 2 千トン）が 1 位となっていますが、冬期間は 2 位の千葉県産（約 13 万 3 千トン）が主に流通しています。

国内でも食料自給率が高い北海道とはいえ、冬期間の生産量は減少していることが分かります。



花 卉（苫小牧中央花卉㈱）

年末年始によく見かける「干両」は、名前のめでたさから正月飾りの縁起物として用いられています。また、「若松」は、真冬でも緑濃く樹齢が長く、強い生命力や長寿の象徴であり、古くから神が降りてくる依代（よりしろ）とされてきました。どちらも茨城県を中心に多く生産されているようです。

10 品目中、道内産が中心の品目は「シクラメン（鉢）」「ポインセチア（鉢）」「コチョウラン（鉢）」となっています。また、ユリの価格がやや高くなっています。原因としては空輸していた飛行機の減便による影響が大きいようです。



魚介類（マルトマ苫小牧卸売㈱）

全体的に漁獲量・在庫が品薄となっていることから、価格も高騰しているとの報告でした。

年末年始によく見かける「さけ（新巻）」「かずのこ（塩）」「カニ（タラバ冷凍）」も漁獲量不足のため近年にない高値となっています。一方で価格が安定しているのは「たらこ」「いか」でした。

昨年並みの漁獲量があるため価格の変動は少ないようですが、ここ数年のいかの漁獲量は減少傾向にあるため、安値となるには時間が掛かりそうです。



消費生活川柳の紹介 ▶ 優秀賞（清水小学校）
ドキドキだ お小遣いでのお買い物

いつまで？～石油製品の高値が続いています

最新の石油製品の価格は、道内平均価格では、ガソリンが、1月13日公表では、163.3 円/ℓとなっており、灯油については 111.2 円/ℓとなっています。年末から年始にかけ、一時下落傾向となったものの、このところ再び上昇傾向に入り高値が続いています。

新型コロナウイルス「オミクロン株」が世界的な流行となり、国内でも感染者増となっていますが、これまでよりも景気への影響の警戒感は薄れており、石油需要に与える影響は限定的とも言われています。石油価格を取り巻く今後の情勢は未だ不透明であり、長期的予測が困難な状況が続いています。

道内平均 灯油・ガソリン価格推移（週次）

品 目	調査日 ※毎週（月）調査、（水）公表			単位：円/ℓ
	12/15	12/22	1/6	1/13
灯油 ホームタンク 用配送料込	113.7	113.7	111.7	111.2
ガソリン レギュラー フルサービス	163.0	163.1	161.5	163.3

※石油情報センター調査 都道府県別価格推移表より

電気・ガス料金が値上がりしています

原油価格の高騰が家計にもたらす影響は、ガソリンや灯油だけに止まらず、電気料金やガス料金にも及び、ジワジワと値上がりしています。

令和 3 年 4 月に市民生活課が実施した「家庭の燃料等に関するアンケート」結果では、市内の家庭の暖房設備の、約 73%が灯油、次いで、電気（約 13%）、都市ガス（約 6%）、地域集中暖房の順となっていました。

電気やガス料金は、基準期間の燃料価格から算定されており、その期間の石炭や天然ガスなどの燃料価格が反映されます。市が調査している市内のプロパンガスの平均価格も、昨秋から右肩上がりとなっています。

北海道内でも原油や液化天然ガス（LNG）の価格高騰により電気料金が値上がりとなりました。冬期間の暖房として欠かせないこれら価格の変動も気になります。

市内の家庭で使用する主な燃料の種別

	灯油	都市ガス	LP ガス	電気	地域集中暖房	その他	合計
構成比（%）	73.23	5.51	1.58	12.99	6.30	0.39	100.00

※R3 年 4 月市民生活課実施、「家庭の燃料等に関するアンケート」より。